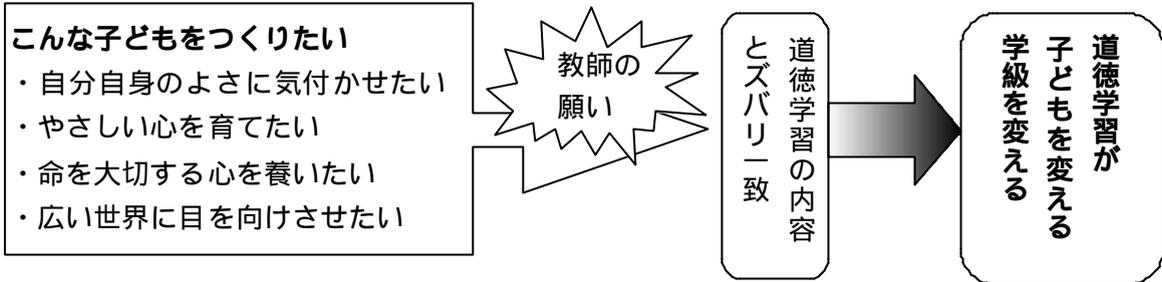
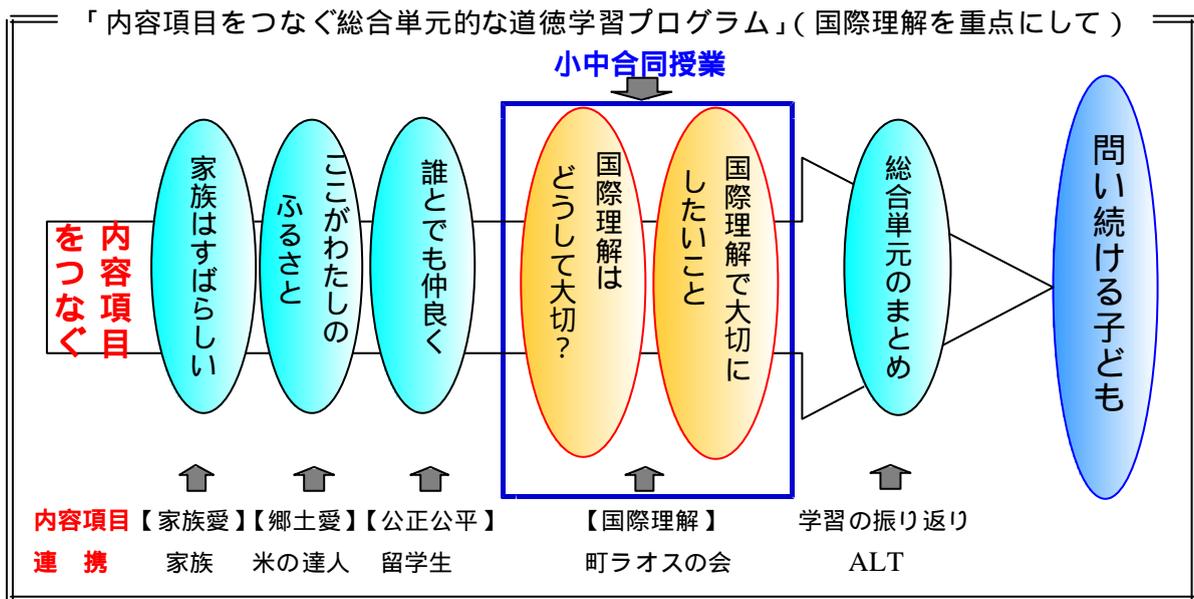


「内容項目をつなぐ道徳学習プログラム」で、道徳力を鍛える



道徳学習で「子どもを変える!」「学級を変える!」
 ……どうすればいいの? この問いに答えます。

今、道徳は「内容項目をつなぐ総合単元的な道徳学習プログラム」だ。



「内容項目をつなぐ道徳学習プログラム」における「4つのよさ」と「4つの法則」

学んだ価値が、次の道徳学習に生かせる。
 問いが連続するので、価値の深まりができる。
 内容項目のつながりが明確になる。
 道徳学習が学級づくりに生かされる。

- 1 学期ごとに「学級づくり」の重点を決める。
- 2 「学級づくり」のテーマを決める。
- 3 内容項目のつながりと「連携」を関連させる。
- 4 問いが連続するように、系統立てる。

小中合同授業で【国際理解】を話し合う



について

今日の道徳の満足度

100点満点中

点

1 今日の学習をふり返ってみよう

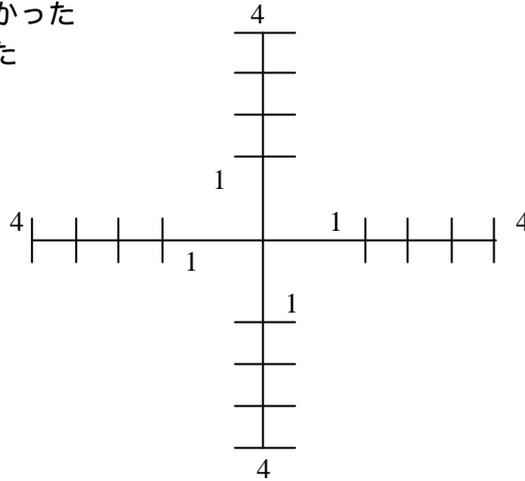
4 とてもよくできた レーダーチャート

3 ややできた 意よく的に取り組めたか

2 ややできなかった

1 できなかった

友達と協力できたか



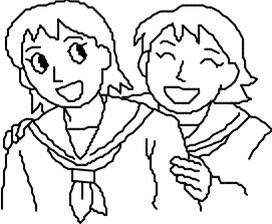
自分なりの考えがもてたか

ねらい

どんなことを発見したの？

2 今日の学習で、思ったことや感じたことをまとめてみよう

第1回目・小中合同授業の導入で使った「心ほぐしの活動」カード

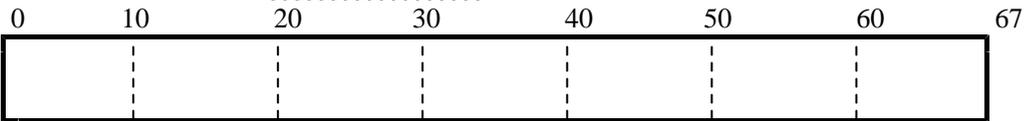
<p>「名前」と「好きな勉強」を教えて。</p> 	<p>今、行ってみたい国は？ その国で何がしたいの？</p> 	<p>(小学生) 外国の人に自まんでできる板倉のよさを1つ。 (中学生) 外国の人に誇れる日本のよさを1つ。</p>
<p>(小学生) あなたの知っている国を1つ教えて。 (中学生) あなたの知っている国を2つ教えて。(小学生が言った国以外で・・・)</p>	<p>おとなになったら、やってみたいことってなに？</p> 	<p>今、ほしいものは？</p> 
<p>好きなタレントは？</p> 	<p>好きな番組は？ どんなところが好き？</p> 	<p>(小学生) 南小学校のいいところは？ (中学生) 板倉中学校のいいところは？</p>
<p>今、気になるニュースは？</p> 	<p>あなたが今までに行った「一番遠いところ」ってどこ？ そこには、なにをしいったの？</p>	<p>今の心境(思っていること)を一言・・・</p> 

年・ 番名前

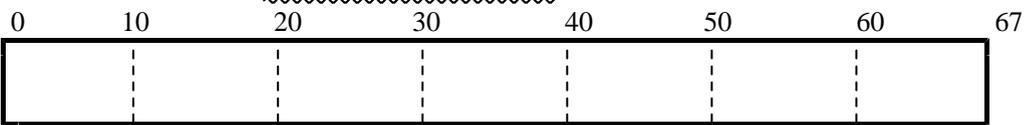
世界がもし67人の村だったら

この教室にいる67人が、世界に暮らす全人口だとしたら
「世界のどんなことが見えてくるのでしょうか・・・」

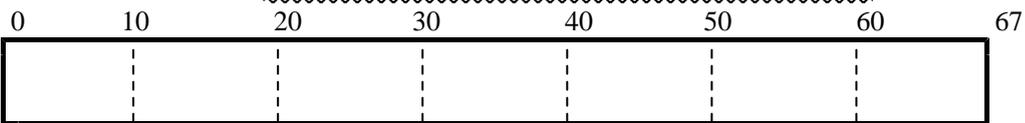
67人の中で、文字が読める人は何人いるでしょう。



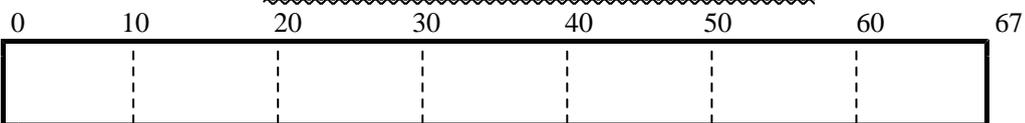
67人の中で、食べ物がたりている人は何人いるでしょう。



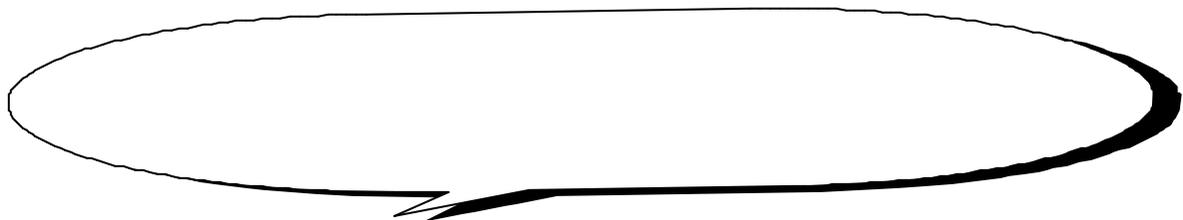
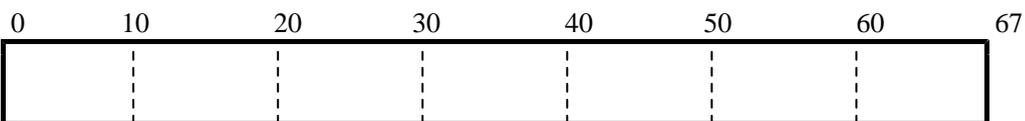
67人の中で、のどがかわいたら安心して水道の水が飲める人は何人いるでしょう。



67人の中で、家に貯金があり、おこづかいがもらえる人は何人いるでしょう。



67人の中で、今、けんかやぼう力を心配せず、安心してすわっていられる人は何人いるでしょう。



シールをはって、気付いたこと・考えたことを書きましょう。

「世界がもし100人の村だったら」

(マガジンハウス)より

ニュージーランドと日本のかけ橋になりたい

私の名前は、D・Mです。ニュージーランドのウェーリントンから来ました。

私が日本についてはじめて知ったのは、小学校3年生の時でした。教室に日本の留学生が来て、日本の生活のことや伝統的な遊びのことについて話してくれたことを覚えています。折り紙やこま回しなどは、そのときはじめて見ました。また、同じクラスにマレーシアから来た友達がありました。その友達の影響からかアジアについてはきょうみがありました。

大学を卒業するとき、日本で「JET PLAN (ジェットプラン)」があることを知りました。1993年の2月、今から9年前のことです。「JET PLAN」とは、日本の中学校で英語を教える外国人の募集のことです。私は、すぐに応募しました。応募はしましたが、日本のことはぜんぜん知りません。外国にも行ったことがありません。そこで、日本に行くために日本語を勉強する学校へ通いました。そこで、日本語のむずかしさを実感しました。英語と違ってひらがな、カタカナ、漢字と3つのことを覚えなければなりません。それに、発音などよく聞き取ることができず考えていた以上にたいへんでした。ぐう然にもそこで、日本人の友達ができました。日本とはどういう国なのか、日本にもし行くことになったら本当に生活できるのかなど不安もあったので、その友達を頼って日本に行くことにしました。

私が持っていた日本のイメージは、「人が多い国」「豊かな国」です。ニュージーランドでも、電気製品は日本のメーカーのものばかりです。私にとってはじめての日本は、関西でした。関西に1ヶ月半、その後東京に来ました。しかし、ここで「JET PLAN」にさいようにならなかったことをニュージーランドの母から聞き、とても残念に思いました。3ヶ月間の日本滞在でしたが、もう2度と日本の土をふむことはないという思いで帰りました。

しかし、少しすると「JET PLAN」に一名の空きができ、幸運にも日本行きが実現しました。そこが、板倉中学校です。板倉では三年間生活しました。その後、ニュージーランドに戻りましたが、自分の中では、やり残したことがあるという思いでいっぱいでした。それは、この三年間で、私は進んで日本について学んでいなかったことです。必要なこと意外は英語を使いました。日本で三年間も生活したのに日本のことを知らないことに気付いたのです。日本に行けば、日本語や日本の文化を理解できると考えていましたが、現実はなかなかそうではありませんでした。少しの日本語だけでは、伝えたい気持ちがなかなか伝わらず、言葉のかべにずいぶんなやみしました。他国の文化を理解することはそんなにかんたんではないことを知りました。しかし、ニュージーランドに帰ってから、日本語をもっと勉強したい、日本語を話せるようになりたい、日本の文化を知りたいという思いが日に日に増していき、もう一度日本へ行くことに決めました。

日本に行くのだったら、思い出の多い、そして、とても親切にしてもらった板倉に行きたいと思いました。ちょうど、小学校で英会話活動を始めたいという町の希望もあり、二回目の日本行きが決まりました。町内四つの学校で教えることは思っていた以上に大変でした。しかし、子どもたちとの英会話活動はとても楽しいし、目的とした日本語が学べるという喜びもあります。また、日本の文化もたくさん学べます。今、知人のすすめから習字を習っています。これも、日本文化を知る一つです。

私は、日本の子どもたちに、ぜひ外国語を身に付けてほしいという願いがあります。外国語を身に付けることは、とても大きな意味があります。

私はもっともっと日本のことを知り、やがては国に帰り、その子どもたちに日本語や日本のすばらしさを教えたいと思っています。私は「ニュージーランドと日本のかけ橋」になりたいと思っています。

道徳学習指導案 5

(公正公平)

「WE ARE THE WORLD - 今、私たちにできること - 」

1 主題名 仲間はずれについて 4 - (3) ・公正公平

2 指導計画

価値		家族	4月～	郷土		公正公平	国際	国際	国際
小学校	10月2日	10日	米作り	16日	22日	30日	11月7日	12日	19日
	家庭科	道徳1	体験	道徳2	総合2	道徳3	道徳4	道徳5	道徳6
							小中合同	小中合同	
価値	ガイダンス	公正公平	国際	国際					
中学校	10月17日	24日	11月7日	12日					
	道徳1	道徳2	道徳3	道徳4					

3 事前・事後の活動

事前

- ・道徳2において、この町のよさについて再発見したことを基に、総合2で、地域の留学生との交流会「この町をすきになってほしい」を計画した。総合2では、4人の留学生を招いて自分たちの住む町のよさを伝えたり、留学生が日本やこの町に来て嬉しかったこと・困ったことの予想と実際の違いについて話し合う活動を行った。そこで発見した留学生が困ったことなどの思いを本時につなげていく。

事後

- ・学級内での公正公平を欠く場面に対して、正しく判断して行動できるようにする。
- ・次回の道徳4について、誰に対しても公正公平に接することの意義をつなげる。

4 児童の実態

学校生活の中で、相手のことを考えない言動や気のあったもの同士で仲間集団をつくり、異質なものを受け入れられないような様子が見られる。高学年になり、このような傾向が強く見られるようになってきた。子どもたちは、そんな自分たちの様子には気付かずに、当たり前のように毎日の学校生活を送っている。

前時の総合2では、留学生との交流の中で留学生たちが実際に感じた「外国人に対する偏見」について聞く機会があった。子供たちは驚きとして受け止め、その矛盾を感じていた。

本時では、資料と前時の留学生の体験談から、仲間はずれについて迫りたい。

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

差別偏見の心に気付き、公正公平な態度で誰にでも接していこうとする心情を養う。

(2) 準備

資料「あの子は うちゅう人?」、心のノート、2WAYノート(振り返りカード)
付箋(大・小)

(3) 展開

段階	学習活動 ・ 主な発問 (は中心)	時間	予想される児童の反応	教師の支援及び指導上の留意点
気 付 く	1、学習課題を知る。	5分	・ 仲間はずれってどういうことなんだろう。	・ 総合2での交流で使った日本やこの町に来てよかったこと・困ったことの資料を提示する。
	<p>先週は留学生との交流会をしました。「私たちの住むふるさとこの町をすきになってもらおう」で、みなさんが考えたこの町のよさを教えてあげましたね。留学生たちは、今まで知らなかったことが発見できたと喜んでくれていました。日本やこの町に来て、よかったことの中で、町の人が親切でやさしい、きれいな町というお話もありました。困ったこと・感じたことでは、言葉が通じないことがあった、部屋を借りるとき断られたことがあった、差別を感じたことがあった、などがありましたね。</p> <p>今日の道徳は、留学生が困ったこと・感じたことに関して「仲間はずれについて」です。仲間はずれについてみんなはどう思いますか。プリントを見て考えてみましょう。</p> <p>今日の学習課題</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仲間はずれについて</p>			
見 つ め る 展 開 前 半	2、資料「あの子 うちゅう人？」を読んで話し合う。 資料を読んで感じたことを発表する。 ・ 資料を読んで思ったこと感じたことは何ですか。線を引いたり、メモしたりしながら聞いてください。2つ以上あげましょう。 ・ グループの人と確かめ合いましょう。 ・ 発表してください。	25分	・ ひとりぼっちだけど強い子、友達がなくてかわいそう、妹が死んでしまっただけでかわいそう、どうして泣きながら歌っていたんだろう、どうしてアメリカへ行ったんだろう、「ぼく」は、最後に意地悪しなければよかったと思っている	・ 学習のねらいを板書する。 差別・偏見にあっている人の心について考える。 ・ 「手塚治虫の絵本」から ・ 範読する。 ・ 感じたこと思ったことを自由に発表させ、板書する。 ・ 題名の「うちゅう人？」についても触れ、言葉の感じをつかませる。
	3、すずきくんとぼくの気持ちを考える。 鈴木くんの気持ちを考える。 ・ クラスにいるときすずきくんは、他のみんなにどうしてほしかったのだろう。 ・ アメリカへ帰った鈴木くんは、どんな思いでいるのだろうか。すずきくんの思	分	・ 他の人と同じようにふつうに接してほしい ・ 外国人だからという目で見ないで、みんなと同じように考えてほしい ・ 日本はいやな国だ	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書く活動1・付箋小</p> <p>・ 「差別、偏見の心」から阻害してしまっていることに気付かせたい。 ・ すずきくんの視点から、仲間はずれにされている人の思い、苦しみについて考えさせたい。</p>

<p>いをピンクの付箋に書こう。</p> <p>ぼくの気持ちを考える。 ・「ぼく」が線路のところで考えていたことは何だろう。黄色の付箋に書こう。3つ以上書きましょう。</p>	<p>・日本人なんて嫌いだ</p> <p>・外見だけで、うちゅう人なんて言っちゃった。 ・仲良くした方がよかった</p>	<p>・「ぼく」の思いから、なぜ仲間はずれにしまったのかにつなげたい。</p>
---	--	---

付箋に書いたすずきくんとぼくの考えたことをグループで台紙にまとめます。
自分の意見を発表してから、台紙に貼ってください。(ピンクと黄色は別の台紙)
疑問や質問があったらそれを話し合いながら、似た考え同士でまとめてください。
まとまりごとに、「まとめた言葉」も書いてください。
発表してください。(2つの班のものを発表する)
すずきくんの思い(ピンクの付箋)とぼくの思い(黄色の付箋)をつなげるために、ぼくにどんな心があればよかったのだろう。

すずきくん
なんで仲間はずれにするんだ
仲良くしてほしい
だれか 助けてほしい
日本人なんて大嫌いだ
外人だからなんだ 同じ人間だぞ

ぼく
もっと仲良くしてればよかった
ごめんな すずきくん
どうして悪口言ったんだろう
あの歌 また聞きたいよ

思いやり、仲良くしたい、差別しない、相手のことを考える

ぼくが、すずきくを仲間はずれにしたのは、どうしてか。

- ・外見が変だからってバカにしていた、外見で判断していた
- ・外国人だからって差別している
- ・相手の気持ちを考えようとしていない、仲良くしようとしていない

・ぼくだけがごめんなと思えば解決したのだろうか。

クラスみんなが考えなければ、仲間はずれはなくなる

・仲間はずれは一人の子だけが考えていても解決しない、集団で考えることが大切なことに気付かせる。

・クラスみんなに足らなかったことって何だろう。

心の弱さ・強い人に従う心・自分を出せない弱さ・同じことが自分に返ってくるのではないかという恐れ

<p>4、「心のノート」P 80・81から、自分を振り返る。</p>	<p>10分 ・どうして、仲間はずれが起きてしまうのだろうか。</p>	<p>仲間はずれをなくすには、どういう心が必要か考えさせる。 ・「心のノート」を読む。</p>
------------------------------------	---	---

女性も男性も、子どももお年寄りも、はだの色の違いはあっても、あるいは障害が

深 め る 展 開 後 半	<p>あったとしても、みんな同じ。だって、みんな同じかけがないひとりの人間。・ ・・(「心のノート」P 80・81)</p> <p>今まで話し合ってきたことのまとめをしましょう。今日の課題「仲間はずれについて」 自分はどう思うんだ、という考えをまとめてみましょう。今の自分にできることも書 いてください。大きな付箋に自分の考えを書いてください。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・班の人の分を画用紙に貼 りましょう。 ・違うグループの人と交換 してください。自分たちの 考えと比べてみましょう。 ・考えが広がったところを 書き足してみよう。 <p>4つの心が大切な心</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思いやり(やさしさ) 強い心 人間はみな同じ みんなが同じように思 うこと</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>仲間はずれにしないた めに大切なことは、外 見で判断しないで、そ の人の気持ちになって 考えてあげることが大 切だと思う。しかも、 自分だけがそう思うの ではなく、クラスの人 みんなが同じように考 えることが大切だ。も し、一人でいるような 人がいたら、私が優し く声をかけてあげたい。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>書く活動2・付箋大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人に1枚ずつ大きめの付箋 を配る。 ・1枚の画用紙に貼ることによ って、交換しやすくする。 ・交換することによって、いろ いろな考えに触れさせたい。 ・いくつかの班に回ったら元の 班に戻すよう指示する。付け加 えることがあったら赤のペンで 付け加えさせる。 ・いい意見は、全体に広めたい。 </div>	
生 か す	<p>5、学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2WAYノートに今日の 学習を振り返って、思った ことや考えたことをまとめ ましょう。 ・感じたことを発表してく ださい。 	5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな人でも同じよう に接したい。 ・差別や偏見のない、学 級、学校をつくりたい。 ・差別や偏見を許さない 強い心を持ちたい。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>書く活動3・2WAYノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2WAYノートに考えをまと めさせる。 </div>

道徳学習指導案 小中合同1 (国際理解1)
「WE ARE THE WORLD - 今、私たちにできること - 」

1 主題名 国際理解について 小学校・4 - (8) 中学校・4 - (10)

2 指導計画

価値		家族	4月～	郷土		公正公平	国際	国際	国際
小学校	10月2日 家庭科	10日 道徳1	米作り 体験	16日 道徳2	22日 総合	30日 道徳3	11月7日 道徳4	12日 道徳5	19日 道徳6
							小中合同	小中合同	
							国際	国際	
中学校	10月17日 道徳1			24日 道徳2			11月7日 道徳3	12日 道徳4	

3 事前事後

事前

小学生・中学生共に、前時において「公正公平」についての価値で道徳学習をしてきた。資料を通して、外国人に対する差別偏見を通して公正公平に対する価値に気づき、どんなことを大事にしていきたいか考えた。

事後

国際理解・第2時では、身近な外国人として小学校・中学校で活躍されているALTの国際貢献について学習する。どんな思いで活動しているのか、国際貢献とは何かについて、身近な人物を通してその思いに迫りたい。

4 児童の実態

小学生について

国際理解の基盤として「家族愛」・「郷土愛」・「公正公平」について学習してきたことを生かしての国際理解・第1時である。国際理解についてのアンケート結果から、「国際理解（世界のことを知ること）」という言葉からどんなことを思い浮かべますか」の問いに、「アメリカ・国の名前・言葉・大変・何も思い浮かばない」など、子どもたちにとって考えにくい問題であることが分かる。本時の導入や展開の中で身近な問題としてとらえられるような支援をしていく必要がある。

中学生について

国際理解についてのアンケート結果から、「国際理解という言葉からどんなことを思い浮かべますか」の問いに、「外国、英語、交流、ホームステイ、世界平和、違う文化に触れる、外国人とのコミュニケーション」など、考えを広げていることが分かる。

付箋に自分の考えを書きまとめていく「道徳マッピング」については、小学生は前時に行っているが、中学生は行っていない。

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

世界の中の自分を見つめたり、世界のことを知ることの意味を見出したりすることによって、国際理解の価値の自覚を深める。

(2) 準備

心のノート（小学校版・中学校版）、2WAYノート（ワークシート・振り返りカード）・シール（500個）中学生海外派遣体験感想文（1名）付箋小・大

(3) 展開

（T1・主、T2・副）

段階	学習活動 ・ 主な発問（は中心）	時間	予想される児童の反応	教師の支援及び 指導上の留意点
	1、小中合同授業に対する意識調査の結果を知らせる。 2、「心ほぐし」の活動を通して、学習の準備をする。 ・「心ほぐしカード」を使って、自己紹介しよう。	15分 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小学生班・中学生班別</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流を深めたい ・ 楽しい道徳にしたい ・ 仲良くなりたいな。 ・ 中学生は、親切だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 67名を10班編成にする。 ・ 小学生班、中学生班になる。 ・ 予め実施しておいたアンケートの結果を提示する。 ・ 班に一つずつ「心ほぐしカード」を配る。 ・ カードの質問に答える形で、

		自己紹介させる。
<p>・ 1枚めくり全員が答えたら、2枚目のカードをめくるようにしよう。</p>		
<p>3、国際問題で気になる出来事のアンケート結果について提示する。</p>	<p>・ 世界にはいろんな出来事があるんだ。いろんな問題があるんだ。</p>	<p>・ 小学生、中学生のとらえ方の違いに気付かせたい。 ・ 事件の写真も提示したい。</p>
<p>世界にはいろんな出来事があるんだね。戦争や貧困（貧しい人たち）、環境の問題、などそのほかにもたくさんあります。でも、世界の人たちみんなの願いは「平和に暮らしたい」「幸せに暮らしたい」だと思います。今日の道徳は、世界のことについて知ることです。</p>		
<p>今日の課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>世界のことに知ること、 どんな意味があるか。</p> </div>		
<p>4、「世界がもし 100 人の村だったら」(マガジンハウス)から、世界の中の自分について考える。</p>	<p>15分</p>	<p>・ 「世界がもし 100 人の村だったら」から、ここにいる「67名の村だったら」に置き換えて考えてみることを知らせる。</p>
<p>「世界が、もしここにいる67人の村だったら」世界はどんな様子になっているのだろう。見えにくい世界の様子を見えるようにしてみよう。そして、世界の中の自分について考えてみよう。</p>		
<p>2WAYノート(ワークシート)を配る。 ・ 小学生と中学生で小グループを作り、いっしょに考えてください。</p>	<p>小中混合の小グループ 小学生と中学生で2人か3人のグループを作る。</p>	<p>・ 小学生と中学生の混合のグループになる。 ・ 小学生と中学生で2人か3人のグループを作り相談しながら答えていくようにする。</p>
<p>この67名が世界に暮らす全部の人だと考えてください。 67名の中で、文字が読める人は何人いるでしょう。 (読める人・58人、読めない人9人) 67名の中で、食べ物が足りている人は何人いるでしょう。 (足りている人・54人、飢えに苦しむ人13人) 67名の中で、のどがかわいたら安心して水道の水が飲める人は何人いるでしょう。 (安心して水が飲める人・11人、のどが渴いても安心して水が飲めない人・56人) 67名の中で、家に貯金があり、おこづかいがもらえる人は何人でしょう。 (貯金があり、お小遣いがもらえる人・5人、貯金がなく、お小遣いがもらえない人・62人) 67名の中で、けんかや暴力を心配せず、安心して勉強できる人は何人いるでしょう。 (安心して勉強できる人・54人、身の危険を感じている人13人)</p>		
<p>5、67人の村の答えを確かめながら、自分を見つめ</p>	<p>・ 世界の様子は、どうなっているのだろう。</p>	

<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えは です。 <p>6つの問題の中で、自分はどちらの人になりますか。シールを貼りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことをワークシートに書いてください。 <p>国際理解の価値を見出すため体験感想文を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様子について新し発見がありました。では、なぜ世界の様子について知ることが大切なのでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちは、世界でもとても豊かな国に生活している。 ・世界の中の自分について知ることができた。 <p>海外派遣体験感想文を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな国際人として、貴重な体験をしてきたんだな。 ・自分も行ってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板の模造紙に答えを書いていく。 ・シールを配る。 ・シールを貼って気付いたことをワークシートに書かせる。 ・世界のことを知ることは、どんな意味を持っているのか、について考えさせたい。 ・体験感想文を読んでもらう。(中学3年生)
<p>中学生版心のノート P 118 を開いてください。中学生は小学生に見せてあげましょう。「国際化とはつまり・・・」世界村の一人の住人として、自分たちだけがよければそれでいいのでしょうか。日本だけがほかの国と全くかわりを持たないで生活していくことは絶対に不可能なことなのです。小学生は英会話を、中学生は英語の時間を中心にして、国際人としての第1歩を踏み出しています。中学3年生の中には、夏休み小さな国際人として国際交流を体験してきた人もいます。そこで、これからどんな考えをもったのか、体験について紹介にてもらいましょう。</p>		
<p>6、一人一人の考えを出し合う。</p> <p>今日の課題を付箋(小)に書き出す。</p>	<p>15分</p>	
<p>深める</p>	<p>これから、今日の課題「世界のことに知ること、どんな意味があるか。」について考えます。最後にわたしはこれを大切にしたいんだという考えを書いてもらいます。</p>	
<p>展開後半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋にどんなことを大切にしたいのかを3つ以上書いてください。小学生はピンク、中学生は黄色の付箋に書いてください。 ・同じ考え同士で仲間わけしてください。大切にしたいことをまとめてテーマをつけましょう。 ・発表してください。 	<p>付箋に書く</p> <p>小中混合グループ (6人か7人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で起きていることを知る。 ・援助を必要としている人や地域について考える。 ・差別偏見で人を差別しないようにする。 ・自分にできることを見つけて、実行する。 ・自分にできることから 	<p>書く活動・2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生と中学生の混合グループになって、考えをまとめていく。 ・はやくまとまったグループの考えを紹介したい。

	今日の課題について考えを付箋(大)にまとめる。	分	始める。	書く活動・3
今日の課題「世界のことについて知ることは、どんな意味があるか。」について、 たくさんの意見を参考にして自分はこう思うんだという考えをまとめてみましょう。 大きな付箋に自分の考えを書いてください。				
生 か す	7、まとめの感想を書く。 ・2WAYノートに今日のまとめをしましょう。	5 分		・2WAYノートを配る。

道徳学習指導案 小中合同授業2 (国際理解2)
 「WE ARE THE WORLD - 今、私たちにできること - 」

1 主題名 国際理解について 小学校・4 - (8) 中学校・4 - (10)

2 指導計画

価値		家族	4月～	郷土		公正公平	国際	国際	国際
小学校	10月2日 家庭科	10日 道徳1	米作り 体験	16日 道徳2	22日 総合	30日 道徳3	11月7日 道徳4	12日 道徳5	19日 道徳6
							小中合同	小中合同	
価値	ガイダンス	公正公平	国際	国際					
中学校	10月17日 道徳1	24日 道徳2	11月7日 道徳3	12日 道徳4					

3 事前事後

事前

小学生・中学生共に、前時において「世界のことについて知ることは、どんな意味があるのか」についての価値で道徳学習をしてきた。世界の様子から自分たちの状況を想像し、豊かな生活の中にいることを学習した。学習後の感想には、「普段は気付かなかったが、わたしたちは恵まれているんだ」「世界のこととを知らないと、協力したり助けてあげたりできない」などがあった。

事後 (小学生)

国際理解・第3時では、身近な外国人として小学校・中学校で活躍されているALTの国際貢献について学習する。どんな思いで活動しているのか、「国と国の架け橋になる」とはどういうことかについて、その思いに迫りたい。「国際理解まとめ」。

4 児童の実態

小学生について

国際理解の基盤として「家族愛」・「郷土愛」・「公正公平」について学習してきたことを生かしての国際理解・第2時である。国際理解についてのアンケート結果から、「国際理解(世

界のことを知ること)という言葉からどんなことを思い浮かべますか」の問いに、「アメリカ・国の名前・言葉・大変・何も思い浮かばない」など、子どもたちにとって考えにくい問題であることが分かる。本時の導入や展開の中で身近な問題としてとらえられるような支援をしていく必要がある。

中学生について

国際理解についてのアンケート結果から、「国際理解という言葉からどんなことを思い浮かべますか」の問いに、「外国、英語、交流、ホームステイ、世界平和、違う文化に触れる、外国人とのコミュニケーション」など、考えを広げていることが分かる。

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

ラオスに学校をつくらうという人たちの思いや願いを知ることによって、国際理解で大切にしたいことを明確にすることができる。

(2) 準備

心のノート(小学校版・中学校版)、2WAYノート (ワークシート・振り返りカード)、付箋小・大、台紙、OHP、ラオスの写真(コピー35枚)、マジック(10本)

(3) 展開

(T1・主、T2・副)

段階	学習活動 ・ 主な発問 (は中心)	時間	予想される児童の反応	教師の支援及び 指導上の留意点
気 付 く	1, 前時の復習をする。	5分	小学生中学生混合班	<ul style="list-style-type: none"> ・ 67名を10班編成にする。 ・ 中学生の間に小学生が入る。 ・ 事件の写真を提示する。
	<p>前の時間は、「世界のことについて知ること、どんな意味があるか。」について考えました。考えてくれたことの中から3つずつ紹介します。小学生の考えは「・・・」、中学生からは「・・・」などがありました。その中で、「恵まれない子どもを助けよう、募金活動をしたい、みんなの心を一つにすることが大切」などがありました。この町ではすでに、恵まれない世界の子供たちのために活動を始めている人たちがいます。今日は、ゲストをお招きしています。この町の方で、ラオスに学校をつくらうという活動を中心になってなさっていたKさんです。今日、Kさんたちの活動を通してみんなといっしょに考えたいことは、「国際理解で大切にしたいこと」です。後半で、一人一人考えた大切にしたいことを付箋に書いてもらいます。</p>			
	2、課題の確認をする。 今日の課題			<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の課題を板書する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 国際理解(世界のことについて知ること)で 大切にしたいこと </div>			
	3、ラオスに学校をつくらう人たちの思いと、ラオスの人たちの思いを想像する。 一人一人の考えを出し合う。 記録係が付箋に書く。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ Kさんたちは、どんな思いをもっていたのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Kさんたちが立てた学校で、目を輝かせて活動している子供たちの写真を2人に1枚ずつ配る。小中で見ないように話す。 ・ 付箋(大)にマジックで書くようにする。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 問いをもつ </div>	
	ここに1枚の写真を用意しました。どんな写真だと思えますか。			

見
つ
め
る
・
展
開
前
半

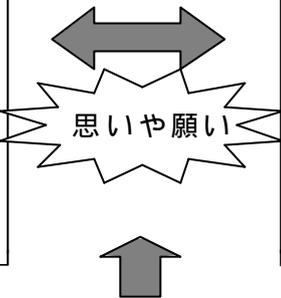
(ラオスの子供たち、学校にいる、楽しそう)
どんな人たちがいるのかな。みんな、何を見ているのでしょうか。
(子どもだけではなくて大人もいる、この町のAさんが手品を見せたら大喜び)
ラオスはアジアの国の中でも、とても貧しい国のうちのひとつです。水道がありません。電気也没有。そんな国に、ここにいらっしゃるKさんたちは学校をつくりたいと考えました。「ラオスに学校をつくりたいと考えた人たちの思い」と「ラオスの人たちの思い」について、今から小学生と中学生で協力して、それぞれの人たちの思いを想像してみましょう。配られた用紙に出された意見を短くまとめてください。記録は中学生にお願いします。それぞれ、5つ以上の思いが発表できるようにしておいてください。マジックで書いてください。

出された意見を黒板に掲示する。
発表する

・ Kさんたちの思いは
・・・だと思ふ。

・ 学校をつくろうとした人たちの思い、ラオスの人たちの思いに迫らせる。

ラオスに学校をつくりたいと考えた人たちの思い
・ 子供たちを学校に行かせたい
・ 同じ人間、助けてあげたい
・ 自分たちにもできることがあるはず
・ 何とかしなくては
・ どうすれば、学校ができるのか



ラオスの人たちの思い
・ 学校ができてうれしい
・ 勉強がしたい
・ 字が読めて嬉しい
・ 日本人は親切、日本に感謝
・ つくってくれた人のためにも一生懸命がんばりたい

国際理解で大切にしたいこと

・ 小学生と中学生の混合グループになって話し合う。

4、 Kさんのお話を聞く。

お話を聞く

インタビュー(15分)
ラオスってどんな国ですか。(OHPで紹介)
ラオスに学校をつくろうとしたきっかけは。(おもい・願い、具体的にしたこと)
ラオスの人たちは、どんな思いでいたのですか。
(ラオスの人たちが願っていること、その学校での学習の様子)
Kさん自身、この活動で何が一番変わりましたか。

・ インタビュー形式で進めていく。
・ 内容については、事前にお問い合わせしておく。
・ 教室内に、お借りしたラオスの様子の写真を並べて、事前に自由に見られるようにしておく。

問いを検証する

今、聞いたお話で、足りなかった考え、修正したい考えを班ごとにまとめてください。

この2つの人たちをつなぐものが、国際理解であったり、国際交流であったりするんだね。国際理解で大切にしたいことはどんなことでしょうか。

・ 日本の人たちの思いとラオスの人たちの思いをつなぐものが、国際理解では大切なことを確認する。

	5、学習課題について考えをまとめる。	20分	
深 め る 展 開 後 半	今日の課題について考えましょう。ゲストにきていただいたKさんのお話や学校をつくらうとした人たち、ラオスの人たちの思いや願いをもとにして、「国際理解で大切にしたいこと」はこういうことだということを付箋に3つ以上書いてください。		
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生はピンク、中学生は黄色の付箋に書いてください。 同じ考え同士で仲間わけしてください。大切にしたいことをまとめてテーマをつけましょう。 いくつかのグループは発表する。 <p>今日の課題について考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 共に助け合っていこうとする心が大事 世界の様子についてよく知ろうとすること 同じ人間としてできることは何かを考える 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書く活動・1</div> 付箋（小） <ul style="list-style-type: none"> 付箋に書く 班で分ける テーマをつける <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">書く活動・2</div> <p>2WAYノート</p>
	今日の課題「国際理解（世界のことについて知ること）で大切にしたいこと」について、たくさんの意見を参考にして自分はどう思うんだという考えをまとめてみましょう。WAYノートに自分の考えを書いてください。		
生 か す	6、まとめの感想を書く。 ・2WAYノートに今日のまとめをしましょう。	5分	・2WAYノートを配る。

道徳学習指導案・最終回 （まとめ）
「WE ARE THE WORLD - 今、私たちにできること - 」

1 主題名 国際理解について 小学校・4 - (8)

2 指導計画

価値		家族	4月～	郷土		公正公平	国際	国際	国際
小学校	10月2日 総合1	10日 道徳1	米作り 体験	16日 道徳2	22日 総合2	30日 道徳3	11月7日 道徳	12日 道徳5	19日 道徳6
							小中合同	小中合同	
価値	ガイダンス	公正公平	国際	国際					
中学校	10月17日 道徳1	24日 道徳2	11月7日 道徳3	12日 道徳4					

3 事前事後

事前

前時の小学生・中学生の合同授業2において「国際理解で大切にしたいこと」についての価値で学習してきた。「ラオスの会」でラオスに学校をつくったゲストティ-チャー-の方からのお話から、国際理解で大切なことは「相手に対する思いやり、国と国とが理解し合うこと、差別偏見をもたずに接すること」など、小学生と中学生で協力しながら価値を追求してきた。

事後

国際理解を中心に総合単元的に学習してきた価値を、生活の中や友達関係の改善などに結びつけていけるように支援していく。

4 児童の実態

国際理解の基盤として「家族愛」・「郷土愛」・「公正公平」について学習してきたことを生かしての国際理解・第3時である。これまでの国際理解の学習では、第1時では「世界のことを知ることは、どんな意味があるのか」、第2時では「国際理解で大切にしたいこと」についてその価値を深めてきた。第3時の本時では、これまで学習してきたことのまとめとして「国際親善の心」について、身近なALTの思いを追求していくことによって迫る。

事前のアンケート「ALTは、どんな思いや願いで英会話を教えてくれているでしょう。」に対して、「英語を覚えてほしい、英語に親しんでほしい、外国に行ったとき困らないため」など、「単に、言葉としての英語を教えている人」ととらえている。ALTが日本に対する思いや子供たちに対する思いをもっていることなどには考えがいたっていない。

ALTの思いや願いから、「国と国のかけ橋」について考えさせたい。

また、「国際理解のまとめ」をする。

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

身近なALT(外国から日本に来て活躍している人)の思いや願いに迫ることによって、国際親善の心について明確にし、国際理解を自分のこととしてとらえることができる。

(2) 準備

心のノート、2WAYノート(ワークシート・振り返りカード)、付箋小、台紙、マジック

(3) 展開・60分計画

段階	学習活動 ・ 主な発問(は中心)	時間	予想される児童の反応	教師の支援及び 指導上の留意点
気 付 く	1、前時の復習をする。	5 分	・ 前時の学習を振り返る。	・ 小学生、中学生の考えを紹介する。 ・ 今日の課題を板書する。
	<p>前の時間は、「国際理解で大切なこと」について考えました。考えてくれたことの中からいくつかを紹介します。小学生の考えは「・・・」、中学生からは「・・・」などがありました。前の時間に来ていただいたKさんは、日本人として積極的に生活の豊かでない国に対して援助や手助け(国際貢献)をしている方です。今日は、ゲストとしてみなさんが英会話を教えていただいているALTに来ていただきました。ALTも国を超えて活躍している人の一人で、Kさんとは違う「もう一つの国際理解(国際親善)」について活動している方です。さあ、みんなといっしょに道徳を学習してきた最後の時間です。ALTの活動と前回のKさんの活動を通してみんなといっしょ</p>			

に考えたいことは、「わたしが考える本当の国際理解とは・・・」です。後半で、自分 分は本当の国際理解は、こういうことだと考えるということを書いてもらいます。			
2、課題の確認をする。			
今日の課題			
「わたしが考える本当の国際理解とは、・・・」			
見 展 開 前 半	3、A L Tの思いを予想する。 25分 問いをもち ・アンケート結果から、みなさんはA L Tの思いや願いを、このように考えてくれました。 ・ 問いについて自分なりの考えをもち	・ A L Tは、本当はどんな思いをもっているのだろう。	・ 事前アンケートの結果から、単に英語を覚えてほしいと考えている子どもが多い。子どもちの発想を大事にしながら、展開後半につなげたい。
	4、資料から、A L Tの思いに迫る。	A L Tの思いや願いは何でしょう。もう一つの国際理解の意味を考えましょう。。	
	A L Tの思いや願いとどうしてそう考えているのか、一人一人の考えを出し合う。出された意見を班でまとめ黒板に掲示する。 ・付箋(大)に、班ごとに意見を書く。 A L Tの思い・願い(ピンク) どうして思い・願いをもったのか(黄色)	・ A L Tの思いに迫らせる。 日本の子供たちに外国語を身に付けてほしい。外国語を身に付けることは大きな意味がある。 A L T自身は、日本語や日本の文化を学びたい。 A L Tの国の子どもたちに、日本語や日本の文化を教えたい。 日本とA L Tの国の架け橋になりたいと思っている。	
	「架け橋になりたい」から、国と国の架け橋とは何かについて考える。	「日本とA L Tの国の架け橋になりたい」と思っているA L Tですが、国と国の架け橋とはどういうことでしょうか。A L Tは、どんなことをしたいと考えているのでしょうか。(挙手)	
	5、KさんとA L Tの願いから、共通なものを考える。	前の時間には、ラオスに学校をつくったKさんの活動やその思いについて考えました。そして、今日はA L Tの活動やその思いについて考えました。ここで、2人に共通しているものについて考えてみましょう。2人に共通しているものは何だと思いますか。班ごとに話し合ってみましょう。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人とも、この町にいて、この町から世界のことを考えて行動している。 ・ Kさんは日本とラオス、A L Tは自分の国と日本というようにそれぞれ、日本と外国の架け橋として活躍している。 ・ 2人とも国を越えて仲良くしたいと考えている。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人ともすごく大きな夢がある。 ・ 2人は、わたしたちに対して願いをもっている。 	
<p>問いについて確かめる A L Tが考えている日本のこと、子供たちへの願い、そして、これから自分の国に帰ってからやりたいことについて聞く。 インタビュー形式で進めていく。(5つ)</p>		<p>A L Tの思いや願いを語っていただく。 日本に来たいと思ったのはどんな気持ち(理由)からですか。 「外国語を身に付けることは大きな意味がある。」どんな意味があると思うのですか。 「自分の国の子どもたちに、日本語や日本の文化を教えたい。」どうして、それがしたいのですか。 「日本と自分の国の架け橋になりたいと思っている。」A L Tの願いは何ですか。 最後に、日本に来たいと思ってもなかなか行動に移せない人が多いと思います。A L Tは、どうしてすぐ行動に移せたのですか。 (できることから始めることが大切だ。)</p>
<p>6、これまでの学習を振り返り、自分なりに高まった価値を明確にする。</p> <p>深める ・ 展開後半</p>	<p>25分</p>	<p>KさんやA L Tは、それぞれに願いをもってすでに活動しています。Kさんは、生活が豊かでないラオスの国に対して何かをしてあげたい。ラオスに学校をつくりたい。A L Tは、日本語を学びたい日本を知りたい、そして、将来は自分の国の子どもたちに日本語を教え、さらに世界に目を向けてほしいなどという願いをもっていました。2人の活動は違いますが、思いや願いは同じです。</p>
<p>さあ、道徳学習の最後です。今まで学習してきたことをもう一度振り返って、「わたしが考える本当の国際理解はこういうことだ」ということを見つけましょう。</p> <p>今までの学習を振り返るために、2WAYファイルを見直す。 ・今まで学習してきたことを振り返り、それぞれの学習で、自分はどんなことを考えてきたのでしょうか。最後に学習している「国際理解」とどうつながっているでしょう。 2WAYファイルの感想を読み返してください。 付箋にそのときの学習で</p>		<p>家族について ・ 家族に支えられて成長してきた ・ 家族は自分にとって大切な存在</p> <p>↓ ↑</p> <p>郷土について ・ ここに生まれてよかった ・ この町を大切に思っている人がいる</p> <p>↓ ↑</p> <p>留学生を招いて ・ この町をすきになってほしい ・ この町のいいところを教えてもらった</p> <p>↓ ↑</p> <p>公正公平 ・ 誰とでも仲良くすることはすごく大切</p>

<p>考えたことを短くまとめて付箋に書き出しましょう。(4色・4人の班)</p> <p>書き出したものの中から、「本当の国際理解で大切にしたいこと」を5つ選んでください。</p> <p>友達はどんなことを大切にしたいと考えているのでしょうか。班でまとめてください。</p> <p>どんな考えがあるのか、全体で確かめてみましょう。発表してください。</p> <p>5つの大切にしたいことを基にして、「わたしが考える本当の国際理解は、これだ。」ということをもとめましょう。</p>	<p>・人種、外見で判断してはいけない、分かってあげる</p> <p>↓</p> <p>国際理解</p> <p>・世界には、自分たちと違う様々な人がいる</p> <p>・世界のことを知ることは、自分を知ること</p> <p>↓</p> <p>国際理解</p> <p>・国際理解で大切なことは、思いやりの心をもつこと</p> <p>・自分にも何かできることがあるはずだ</p> <p>↑</p> <p>・2WAYノートにまとめさせる。</p> <p>本当の国際理解とは、家族や自分の住む町を大切に思う心が大切。世界のことを知ることは、自分のことを知ることから始まる。次は、誰とでも仲良くすることが大切。はだの色が違ったり見かけが違ったりで仲間はずれや差別をしては、世界中の人たちと仲良くできない。そして、世界のことが大切。今、世界ではどんなことが起きているのか、貧しい国では、どんなことに困っているのかなど知り、理解することが大切。さらに、自分にできることは何かを真剣に考え、みんなと協力して、みんなに呼びかけて、自分たちにできることから始めることが、わたしが考える本当の国際理解だと考える。</p>	
<p>生 7、まとめの感想を書く。 5 か ・2WAYノートに今日の分 す まとめをしましょう。</p>		<p>・2WAYノートを配る。</p>

<p>授業実践で使用した資料・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心のノート」(小学校編・中学校編) 文部科学省発行 ・「生きてます15歳」(ポプラ社) ・「手塚治虫の絵本・空とぶラビ」より『あの子はうちゅう人?』(河出書房新社) ・「みんなにわかってほしいこの気持ちを」 群馬県教育委員会「気付く心が生き方につながる」・生徒作文による中学校道徳学習教材集 ・「世界がもし100人の村だったら」(マガジンハウス) ・「ニュージーランドと日本のかけ橋になりたい」(自作資料) 	
---	--